

## 平成 21 年度

## 思春期後期から青年期を対象にした食育の推進について

## 1 食育推進のための庁内担当班長会議の開催

期 日 平成 21 年 5 月 12 日 (火)  
 場 所 行政庁舎 1002 会議室  
 出席者 庁内関係 19 課 3 室 27 人  
 議 題 「思春期後期から青年期における食育の取組方策について」

## 2 食育推進担当者研修会の開催

期 日 平成 21 年 5 月 26 日 (火)  
 場 所 自治会館 9 階 研修室  
 対象者 食育担当者 (市町村, 保健福祉事務所, 地域振興事務所, 教育事務所等)  
 内 容 (1) 思春期後期から青年期への食育推進について  
 (2) 講話「思春期から青年期の食事情と求められる食育の視点」  
 講師 宮城県食育推進会議委員長  
 講師 宮城県食育推進会議委員長  
 宮城学院女子大学 教授 平本福子氏  
 (3) 平成 21 年度みやぎの食育推進事業について

## 3 思春期後期から青年期の食育の取組に関する調査の実施

(P 68 ~ P 79)

## 4 「みやぎ食育コーディネーター養成講座」への大学生の参加

・みやぎ食育コーディネーター養成講座の定数枠の他に大学生の参加を可能にした。

## 5 みやぎまるごとフェスティバルにおける食育コーナーへの出展

・宮城学院女子大学 平本ゼミ生  
 ・仙台大学 栄養サポート研究会  
 ・明成高等学校 調理課  
 ・宮城県農業高等学校

# 思春期後期から青年期の食育の取組に関する調査結果

## I 調査の概要

### 1 目的

思春期から青年期の食育は、「食の自立」という視点から重要なステージであり、食をめぐる様々な課題を抱えている世代でもあるが、その取組は弱いということが指摘されている。

こうした現状を踏まえ、思春期後期や青年期に関わる食育の取組状況を把握し、思春期後期から青年期世代が「健やかに生き、未来の力となる」食育の推進方策の参考とする。

### 2 調査内容

- (1) 現在あるいは過去に取り組んだ食に係る活動
- (2) 今後、やってみたい、やれそうな活動
- (3) 思春期後期から青年期への世代に食育を推進している団体情報

### 3 調査対象及び実施状況

- |          |      |       |       |       |
|----------|------|-------|-------|-------|
| (1) 市町村  | 調査対象 | 36市町村 | 実施市町村 | 12市町村 |
| (2) 高等学校 | 調査対象 | 98校   | 実施高校  | 23校   |

### 4 調査期間

平成21年6月から7月

### 5 調査方法

郵送等による調査票配布と回収

### 6 調査集計・分析

宮城県保健福祉部健康推進課

## II 結果の概要

### 1 思春期後期から青年期の食育に関する市町村の取組

#### (1) 実施状況

12市町村15部署において実施(実施率 33.3%)

(内訳) 水産課(2)

教育委員会, 生涯学習課(4)

保健福祉部門(8)

地域整備課(1)

#### (2) 現在あるいは過去に取り組んだ食に係る活動

##### ① 取組の対象者

(受講側)

高校生, 高校生と保護者、ジュニアリーダー、大学生, 大学生と地域住民、大学教職員, 保育所・幼稚園職員、地区子供会員と親、地域住民と20歳未満の女性, 20代の勤労女性

(指導者、ボランティアとしての関わり)

ジュニアリーダー(小学生を対象)、高校生(市民を対象)、高校生(小学生を対象)、大学生(乳児・両親を対象)

##### ② 取組の内容

①地場産食材の消費拡大と魚食文化の伝承(水産課)

②野外調理実習(生涯学習課, 健康福祉課)

③朝食の大切さ, 元気な体を維持するための食生活について(健康福祉課)

④生活力の向上, 生活改善を目的にした「食」に関する講座(講話, 実習)

⑤食をとおした体験学習

・親と子の食育教室

・親子森林探検隊ボランティア活動

・レッツアグリ隊(小学生)を対象に野菜づくりの指導

・「ヤングクッキング」~講話と調理実習~

⑥望ましい食習慣に関する講演

⑦大学生, 地域住民を対象に「食育研修会」の開催

⑧ダイエットに関する相談(20代就労女性)

##### ③ 実施に際して連携した機関等

気仙沼市大川水系さけます増殖協会, JA, 高校, 大学, 教育委員会, 企業, 社会福祉協議会, 食生活改善推進委員会

### (3) 今後、やってみたい活動

- ①食について学んでいる学生等を講師に、「食育世代間交流を目的とした講座」の開催(仙台市教育委員会)
- ②青年サークルが主体となって、青年会の活動に「自立するための料理教室」や「食のこだわり教室」を組み入れる(村田町教育委員会)
- ③健康づくり部門と教育委員会との連携により、高校生が小学生を対象に「食育教室」を実施(石巻市)
- ④大学生による大学生のための食育(ライフステージ別食育の企画・実践・評価、コンクール開催等)(名取市)
- ⑤食生活改善推進員の協力を得ながら、高校生を対象に「食事バランスに関する料理講習会」の開催(利府町)
- ⑥食生活改善推進員とジュニアリーダーのコラボレーションによる「親子食育教室」の開催(南三陸町)
- ⑦保健部門と教育(生涯学習課)及び食育ボランティアとの連携協力により、高校生、大学生を対象に「望ましい食生活～調理実習～」の啓発(七ヶ浜町)

### (4) 取組の詳細(P68～P73)

## 2 思春期後期から青年期の食育に関する高等学校における取組

### (1) 実施状況

23校において実施(実施率23.5%)

(内訳)普通高校(15),農林高校(3),工業高校(1),商業高校(2),水産高校(1),調理科を有する高校(1)

(学校以外の実施主体)

生活科食育プロジェクトチーム(宮城県農業高校)  
地域活性化グループ(宮城県塩釜女子高等学校)  
リエゾンキッチン(明成高等学校)  
生徒会ふれあい隊(涌谷高等学校)  
青年サークル  
ジュニアリーダー

### (2) 現在あるいは過去に取り組んだ食に係る活動

#### ① 取組の対象者

(受講側)

フードデザイン受講者, 選択受講生, 食品科学類型3年, 保健委員の生徒,  
家庭部員(部活動生徒), 一般高校生

(指導者, ボランティアとしての関わり)

小学生・保護者, 子供会, 地域住民

## ② 取組の内容

### 1) 体験農園, 地場食材の利用と調理体験学習

#### イ 学校農園で収穫した作物を使用した調理実習

- ・草餅, イチゴジャム, 五目ごはん, トマトパスタづくり
- ・人参, シモン芋を使用して, スイートポテトづくりを小学生, 保護者に指導
- ・幼稚園, 小学生を対象に野菜入りクッキーづくりと野菜に関する講話

#### ロ 地元の食材を使用した料理教室(調理実習)

- ・プロに学ぶフレンチ・コース料理
- ・手打ちそば, 豆腐, 米粉ピザ, おからサラダ
- ・米粉を使ったピザ

#### ハ 地場食材を使用して商品開発

- ・まぐろを使った商品(まぐまぐバーガー, カップケーキ)の開発
- ・地域でとれた野菜を利用してスープ開発

#### ニ 地場食材を使用して郷土料理を学校給食に活用の推進

- ・郷土料理のレシピの提供と調理実習

### 2) 農業体験

- ・梨の花粉交配の体験

### 3) 食文化・行事食の継承

- ・みそづくり
- ・魚食文化の継承(地場海産物を使った調理実習, さんまの三枚おろし, いかのさばき)
- ・石巻の捕鯨文化と調理実習
- ・郷土料理の調査, 実習(おくずかけ, そばはっと, ずんだもち, 仙台みそ, はらこ飯)  
食を通して郷土を知る
- ・クリスマスのお菓子づくり

### 4) 栄養教育(家庭科)・食育講演会・講習会(保護者, 生徒)

#### イ 栄養と食品の関わり, 食育全般について

- ・食事摂取基準について
- ・家族の食事計画について
- ・主菜, 副菜等の役割について(食事の組み合わせについて)

#### ロ 生活習慣病の予防と自己の食生活改善

- ・バランス食, 朝食の重要性
- ・BMIと食生活について, 生活習慣病について

#### ハ アレルギーを除去する食品の紹介, 食生活の見直し

### 5) 文化祭での活動

- ・食育コーナーの開設 高校生1 大学生1
- ・地場産物(ホウレンソウ, 小葱)を使ったクッキー, 味噌汁の試食会

### 6) 「地域おにぎり交流会」

- ・2歳から9歳までの子供によるおにぎり, 味噌汁作りを大学生の食育ネットワーク研究会が支援する  
とともに, 保護者に食育

### 7) 理科・家庭科 命をいただく(鶏の解剖, 調理試食)

③ 実施に際して連携した機関・協力者等

1) 企業・事業者等

味噌製造事業者, 鮮魚出荷事業者, 水産加工業者, JA古川, JAみどりの, JAn南三陸(食育担当者, 婦人部), 宮城県漁業協同組合女性部石巻支部, お菓子職人, レストランシェフ, (財)宮城県予防医学協会(管理栄養士の派遣)

2) 行政

市町村産業振興課, 市町村健康推進課, 保健福祉課, 地域整備課

3) 市町村教育委員会

4) 食育推進団体等

食生活改善推進員, 生活改善クラブ, 地元食材を守る会, NPO法人シモンと健康を考える会, 自主グループ「お魚ネットワークとりあえず」

5) その他

東北大学法学部地域活性化チーム

(3) 今後やってみたいこと, やれそうな活動 (6校)

① 学校家庭クラブにおける宮城の郷土料理講習会

② 家庭科で, 地産地消と郷土料理

③ 文化祭での食育, 料理講習会, 家庭クラブとしての食育に関する研究活動

④ みやぎの郷土食を知る(はっと講習会)

郷土に伝えられている料理を調べ, 実践する。

先人の食に対する知恵を学び, 郷土料理に関心をもたせ, 郷土の味を継承していこうとする姿勢を育てる。

⑤ 地域の行事会, 郷土料理を調査, 実習

⑥ 生活科学部を主体に, 郷土料理, お菓子づくりを実施

⑦ 食に係る農業, 水産, 調理関係科のある高校の協力を得る

⑧ 他のPTAや生徒会での食育実践の状況について, 本校PTA等をとおし働きかけていく

(4) 課題, 今後の活動への抱負(9校)

① 調理内容をより充実させたい

② 地元の食材を利用した料理教室 外部講師の活用

③ 家庭クラブ員を対象に「みやぎ食育コーディネーター」による郷土料理の講習会

④ 郷土食(梅干し, 笹まきづくり)をつくる

⑤ 富谷町の特産物(ブルーベリー)を利用した調理実習

⑥ 食に関するアンケート調査をもとに食育活動

⑦ さつまいもを活用したパン作りの学校開放講座

⑧ 地元の伝統食材(伊場野芋, ハマボウフウ)の食べ方の研究

⑨ 家庭科ホームプロジェクト

(夏休み期間を利用し, 自分や家族の食生活をみつめ, よりよい食生活をめざし, 食生活の改善・実践につなげる。)

(5) 取組の詳細(P74~P79)

### 3 思春期後期から青年期への世代に食育を推進している団体情報

#### ①セヶ宿栄養士会

高校生を対象にした郷土料理の調理実習

#### ②仙台大学運動サポート研究会

アスリートへの栄養セミナー, 料理教室, みやぎまるごとフェスティバル食育コーナーへの出展

#### ③尚絅学院大学食育ネットワーク研究会

食育講習会, 地域おにぎり交流会等の開催

#### ④宮城県農業大学校

体験農園, 地場野菜を利用したスープ開発

#### ⑤宮城大学劇団おにぎり

食育フォーラム2007～2008参画, 人形劇上演による食育

#### ⑥宮城学院女子大学

「子どもから子どもへ」の食育☆べんとうずの活動支援, みやぎまるごとフェスティバル食育コーナー  
企画運営, 食育フォーラム2007～2008参画 試食品, レシピの提供

#### ⑦東北大学法学部地域活性化チーム

地域活性化プロジェクトワークショップを開催し, 地域食材を使用した商品開発づくり

### 4 まとめ

思春期から青年期の食育は、「食の自立」という視点から重要なステージであり、食をめぐる様々な課題を抱えている世代でもあるが、その取組は弱いということが全国的にも指摘されている。

本県の市町村の取組状況は、36市町村中12市町村で、実施率33.3%、今後やってみたい又はやれそうな活動を有する市町村含めても、13市町村で、実施率36.1%にとどまっている。

また、高等学校における取組状況は、98校中23校で、実施率23.5%、今後やってみたい又はやれそうな活動を有する高校を含めても32校で、32.7%にとどまっていることから、今後も継続的な普及・啓発の取組が必要である。

思春期後期から青年期の食育の取組に関する調査集計票(市町村)

調査項目1 現在,あるいは過去に取り組んだ食に関する活動

No.	情報提供者	実施主体	対象者	取組内容	連携協力者
1	気仙沼市	市水産課	高校生	さけ消費拡大推進事業の一環として, 高校生による鮭料理教室の開催(H20・H21)	気仙沼市大川水系さけます増殖協会
2	気仙沼市	市生涯学習課	ジュニアリーダー(中・高校生)	①竹飯ごうを作り, 炭をおこして竹飯ごうで五目ご飯作りを体験 ②段ボールでオーブンを作り, それを使用してピザを作る。(H21予定)	
3	柴田町	柴田高校	柴田高校3年生	*食事に関する, パワーポイント活用での食育支援。 欠食、偏食が多い中での食事、特に朝食の大切さ、昼食を売店で購入したパンだけで終える子どもに対する食事ポイント、節食を終えて太る子どもへの体重をキープするための食事の仕方、食事は摂らないがお菓子を多く食べる子ども、朝食で単品ダイエツトしている子ども等に対し、身体をつくるためには高校生の時期に摂る食事がいかに大切か等々について食育支援した。	柴田町健康福祉課保健班
4	仙台市	仙台市教育委員会	主に大学生	青葉区中央市民センターで社会教育施設実習を行った大学生(社会教育専攻学生)の企画立案による、自分たちと同世代の生活力の向上、生活改善を目的とした「食」に関する知識と技術の習得に関する講座の実施。	青葉区中央市民センター 中央市民センター 宮城教育大学
5	仙台市	仙台市太白区保健福祉センター家庭健康課	管内保育所(園)・幼稚園職員	食育情報交換会の一部として、子どもや保護者を対象とした食育活動をしているグループの活動紹介(公黄)	劇団おにぎり(宮城大学食産業学部) 学生による人形劇団)
6	村田町	村田町保健推進委員会(食改)	地区子供会と親	親と子の食育教室で、ジュニアリーダー(中学・高校生)が子どもたちの世話係としてかわり、小学生が調理実習するときに食改さんと一緒に補助を行う。	町健康福祉課
7	村田町	村田町教育委員会	小学生・ジュニアリーダー	年2回教育委員会主催による春・夏のキャンプ(2泊3日)で、野外活動の中に調理体験を行っている。ジュニアリーダー(中学生・高校生)が事前に献立を考え、材料を発送し当日は小学生に調理指導を行う。	



8	登米市	米谷工業高校	米谷工業高校生徒・保護者	平成19年度から宮城県食育推進プラン基本目標に基づいて「食育」をすすめている。登米市はこれに係る支援を行った。 【平成19年度】 1. 教科「家庭基礎」等やLHRにおいての食生活に関する正しい知識の推進。 2. 保護者、生徒への望ましい食習慣に関する講演会開催。 3. 職員対象研修会。 4. 健康アンケート調査。 5. 文化祭での食育コーナー開設。 【平成20年度】 1. 文化祭での食育コーナー開設。 2. 生徒への望ましい食習慣に関する講演会開催。	登米市市民生活部健康推進課
9	女川町	女川高校	高校2年生	地域の旬の魚介類(さんま)にさばき方、調理方法を地域の方から学ぶ	自主グループ「お魚ネットワークとりあえず」、水産加工業者
10	石巻市	石巻市(水産課)	大学生(石巻専修大学)	石巻旬のカツオの「さばきかた実演・体験 試食会」 ①カツオ等のさばきかたの講師による実演 ②参加者によるカツオのさばきかた体験 ③試食	石巻市(本庁健康推進課・総合支所保健福祉課)食生活改善推進員
11	塩竈市	塩竈女子高校 (地域活性化グループ「塩竈ほんぼん」)	市民	地元高校生が地場産品であるマグロを使った新商品を開発し、企業に採用、販売してもらい、地域の活性化を図ろうとした事業。本来処分するはずのマグロの血合いを使った(再利用)ハンバーグを作った作り、市民を対象にお披露目を実施した。商品名:まぐまぐハンバーガー	ヤマコ武田商店(鮮魚出荷業者)
12	塩竈市	塩竈女子高校 (地域活性化グループ「塩竈ほんぼん」)	市民	まぐまぐハンバーガーと同じタイミングで、国の天然記念物である「鹽竈桜」をモチーフにしたカップケーキを作成し、お披露目を実施。カップケーキは、鹽竈桜をモチーフにした桜色のクリームに、桜の花びら型のピンク色のスポンジケーキが舞うようにのせたカップケーキ	
13	名取市	尚綱食育ネットワーク研究会 名取市保健センター	大学生、地域住民	2009年「食育研修会」を大学で開催。“食品と免疫”や“食の安全性とトレーサビリティシステム”などを内容とした。大学生は各回100名程度参加した。	尚綱学院大学エクステンションセンター (尚綱学院大学主催、名取市共催)
14	名取市	尚綱食育ネットワーク研究会 名取市保健センター	大学生、大学教授、名取市食育推進会議委員、食育推進係長、食育推進委員会委員	食育関係者を中心に、“生体の情報伝達システム”や“小児科の現場”に関する勉強会を大学を会場として開催した。食を勉強中の学生も参加した。	尚綱学院大学主催、名取市共催

15	名取市	名取市保健センター	乳児・両親	名取市保健センター主催のもぐもぐ親子教室などに、尚綱食育ネットワーク研究会から大学生のサークルに働きかけ、ボランティア派遣。	名取市主催
16	名取市	宮城県農業大学校		地域で採れた野菜を野菜を利用したスープの開発にあたり、子供の野菜の摂取状況などを聞き取り調査した。	名取市保健センター
17	美里町	美里町生涯学習課(公民館)	町内住民(親子)	「親子森林探検隊」と称し、学校林において笹や椎茸狩り、流しそうめん、栗拾いなど年間を通して5回程度実施している。小牛田農林高校生徒がボランティアとして参加している。	小牛田農林高校
18	美里町	美里町社会福祉協議会	町内小学生	「レッツアグリ部」と題して、学校農場において年4回程度、野菜作りや草花作りの農業体験を行っている。小牛田農林高校生徒がボランティアとして参加している。	小牛田農林高等学校
19	利府町	利府高校	高校1年生	町内の梨農家に出向き、梨の花粉交配を行う。(利府の産業の中心として古くから町を支えてきた梨にふれる食体験)	利府町地域整備課
20	南三陸町	志津川高等学校	高校1年生	栄養士による食育講話	南三陸町保健福祉課
21	南三陸町	町生涯学習課	20歳代の未婚の女性	ヤングクッキング」調理実習と講話	南三陸町保健福祉課
22	七ヶ宿町	町保健センター	町民	事業名:「お晩方相談」夜間の健康相談の開催 仕事をしている20代のダイエット(食生活)に関する相談があります。	
23	上沼高校	校内保健委員会	保健委員	地元産の米を加工した米粉を使ってピザを作り、地元産の産品に関心をもちたせる取り組みを行った。	登米市産業振興課



調査項目3 大学生等の活動に係る情報提供

No.	情報提供者	実施主体	対象者	取組内容	連携協力者
1	仙台市			「食育フォーラム2007～2008」にて、宮城大学、宮城学院女子大学がブースの参加、人形劇上演、試食品・レシポの提供などを実施。今年度も参加予定。	
2	仙台市	仙台市教育委員会	主に大学生	青葉区中央市民センターで社会教育施設実習を行った大学生(社会教育専攻学生)の企画立案による、自分たちと同世代の生活力の向上、生活改善を目的とした「食」に関する知識と技術の習得に関する講座の実施。	青葉区中央市民センター 中央市民センター 宮城教育大学
3	仙台市	仙台市太白区 保健福祉センター家庭健康課	管内保育所(園)・ 幼稚園職員	食育情報交換会の一部として、子どもや保護者を対象とした食育活動をしているグループの活動紹介(公演)	劇団おにぎり(宮城大学食産業学部の学生による人形劇団)
4	塩竈市	塩竈女子高校 (地域活性化グループ 「塩竈ほんぼん」)	市民	地元高校生が地場産品であるマグロを使った新商品を開発し、企業に採用、販売してもらい、地域の活性化を図ろうとした事業。本来処分するはずのマグロの血合いを使った(再利用)ハンバーグを作った作り、市民を対象にお披露目を実施した。商品名:まぐまぐハンバーガー ※「塩竈ほんぼん」は、東北大学法学部地域活性化チームによる地域活性化プロジェクトワークショップにより誕生。	ヤマコ武田商店(鯉魚出荷業者)
5	塩竈市	塩竈女子高校 (地域活性化グループ 「塩竈ほんぼん」)	市民	まぐまぐハンバーガーと同じタイミングで、国の天然記念物である「鹽竈桜」をモチーフにしたカップケーキを作成し、お披露目を実施。カップケーキは、鹽竈桜をモチーフにした桜色のクリームに、桜の花びら型のピンク色のスポンジケーキが舞うようにのせたカップケーキ ※「塩竈ほんぼん」は、東北大学法学部地域活性化チームによる地域活性化プロジェクトワークショップにより誕生。	
6	名取市			●2008、2009年度多賀城・七ヶ浜「名物料理・創作菓子」コンクールに健康栄養学科学学生応募・入選(教科活動を利用)。 ●大学に学科を越えた健康生活をめざす愛好会「ヘルシーアップル」がある。	
7	名取市	宮城県農業実践大学校	山元町小学生、仙台市青葉区子供会	体験農園に取り組みむために、小学生に対して野菜の好き嫌いの基礎調査を実施体験農園のメニュー検討のために、幼・小学生を対象に野菜入りのクッキー作りと野菜に関するお話を開催この内容は、宮城県農業実践大学校(現農業実践大学校)の経営開発学部2年生女子の卒業論文としてまとめられた	

8	名取市	宮城県農業大学校			地域で採れた野菜を利用したスープの開発にあたり、子供の野菜の摂取状況などを聞き取り調査した	名取市保健センター
9	名取市	尚絅食育ネットワーク研究会	大学生、 大学教職員		大学生による大学祭でののはっとフェスティバル” 出店運営見学と研修	登米市はっとフェスティバル運営事務局
10	名取市	尚絅食育ネットワーク研究会	大学生(全学科)		2007年食育意識調査、2009年大学生の食知識・食行動欲求調査	研究会員(健康栄養学科、人間心理学科、現代社会学科、保育科教員)ほか、大学教員
11	名取市	尚絅食育ネットワーク研究会	地域住民(中高年男性)、 大学生		食育講習会で大学生が講習会準備、実習過程での支援に参加。世代間交流も実施。	健康栄養学科教員、大学生3年
12	名取市	尚絅食育ネットワーク研究会	幼児・児童・保護者・大学生		「地域おこし交流会」2-9歳の子どもによるおにぎりや味噌汁づくり。保護者への講義。大学生による食育認識と支援。子どもたちの食の自立と世代間交流をめざして。	研究会員(健康栄養学科、人間心理学科、現代社会学科、保育科教員)ほか、大学教員
13	石巻市	石巻市(水産課)	大学生(石巻専修大学)		石巻旬のカツオの「さばきかた実演・体験 試食会」 ①カツオ等のさばきかたの講師による実演 ②参加者によるカツオのさばきかた体験 ③試食	石巻市(本庁健康推進課・総合支所保健福祉課)食生活改善推進員
14	健康推進課 HP	地域子ども教室「夢工房」 仙台市立東六番小学校	子供たち 地域住民		地域の大人たちが協力して、子ども達の様々な活動や地域住民との交流活動を支援する「地域子ども教室推進事業」において、宮城学院女子大学食品栄養学科の平本ゼミの学生達が、自分にあつた食事の量や栄養バランスについて、弁当箱を使って、子どもから子どもに伝えていくという活動を行っている仙台市立東六番小学校の「さばきかた」の活動をサポートしています。 「みやぎまるごとフェスティバル～食育コーナー～」に、「さばきかた」の子どもたちと一緒に常連で出展しています。	みやぎ学院女子大学食品栄養学科
15	健康推進課 HP	仙台大学運動栄養サポーター研究会	スポーツ選手 (男子体操競技部・B.L.S部 新体操競技部・滑艇部 女子バスケット部・野球部 陸上部、サッカー部 など)		運動・栄養サポーター研究会では、スポーツ選手の競技力向上に貢献するため。大学の様々な部の立て方、貧血の対処法など様々なテーマの栄養セミナーを行っています。 また、「みやぎまるごとフェスティバル～食育コーナー～」において、野菜の名前あてクイズや重量あてクイズを企画、出展するなど食育活動を行っています。	

思春期後期から青年期の食育の取組に関する調査集計票(高等学校)

調査項目1 現在、あるいは過去に取り組んだ食に関する活動

No.	情報提供者	実施主体	対象者	取組内容	連携協力者
1	柴田農林高校	柴田農林高校	2学年選択 フードデザイン受講者	本校で収穫された作物を使用して、調理実習を行っている。	
2	石巻市立 女子商業高校	石巻市	高校3年生女子	地元の大豆を使った味噌作り体験 (地域の新鮮な食材、地域に伝えられてきた食文化に関心をもち、必要な技術を習得できるようにする。)	
3	石巻市立 女子商業高校	石巻市	高校2年生女子	地元で水揚げされた海産物を使った調理実習 (女川港の新鮮なサママ、イカを材料に、魚の三枚おろしとイカのさばき方を生かしてサママ井、イカの和え物献を完成させる。家庭においても魚料理を実践し、日常生活の中で食文化に関心をもちたいことを目的とする。)	
4	宮城野高校	宮城野高校	本校生徒	平成19年度 開放講座において、理科・家庭科教諭による講座「命をいただく(ニワトリ編)」を行った。 講座では、ニワトリを解剖し生体観察した上、調理・試食し、「命をいただく」体験を行った。	
5	本吉響高校	本吉響高校	高校3年生 選択授業	・地元の食材を使った料理教室Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ (Ⅰプロに学ぶフレンチ、コース料理) (Ⅱ・Ⅲ手打ちそば、豆腐、米粉ピザ、おからサラダ)	Iレストランのシェフ Ⅱ・ⅢJAN南三陸 食育担当者、婦人部
6	上沼高校	校内 保健委員会	保健委員	地元産の米を加工した米粉を使ってピザを作り、地元産の産品に関心をもちたせる取り組みを行った。	登米市産業振興課
7	上沼高校	校内 地域総合エリア	選択者 14名	学校農場で収穫した食材を使って、調理実習を行い地産地消について理解させた。 ・もち米、よもぎ・・・草餅 ・いちご・・・イチゴジャム ・米・・・五目ご飯 ・とまと・・・冷製パスタ	校内農場部

8	石巻商業高校	石巻商業高校	高校1・2年男女生徒	栄養と食品のかかわりについて、食事摂取基準について、家族の食事計画について、食品の自給率について、郷土料理の調査について等、取り組んでいる。	なし
9	石巻商業高校	石巻商業高校家庭部	部員女子生徒10名	クリスマス時期に、行事に適用するお菓子の調理の指導を受けている。	石商のOBで、お菓子の店主
10	県立高校	県立高校	全校生	目的:生活習慣病の予防と日常生活における食の大切さを学び、これからの自己の食生活を改善させる。 内容:管理栄養士による講演(食のバランス・朝食の重要性・生活習慣病予防・健康体操等)	(財)宮城県予防医学協会
11	西山学院高校	西山学院高校	高校生 (1, 2, 3年, 男女)	学校、寮、食堂が連携を図りながら、食生活の基本であるバランスのとれた食事で、3食規則正しく摂ることの大切さを、毎日の食事を通して実践している。 (内容)・食事マナー、旬の食材、地場産品、郷土料理、バランスガイド活用、料理レシピ制作、手作り給食、食と体のことについては個別に対応、その他有。	寮、学校(家庭科と連携を図り、予め授業の中に取組をしている)
12	西山学院高校	セブ信栄養士会	栄養士、調理員	地域に根ざした学校給食推進事業(郷土料理10品の調理実習)→献立に反映	地域の人
13	富谷高校	富谷高校 家庭科	2年生 男女	沖繩修学旅行の事前学習の一環として、沖繩の食材の試食・沖縄料理の調理実習を実施。 調理実習題材:ゴージャスチャンプルー・アースー汁・アングダンスー(肉みそ)	
14	富谷高校	富谷高校 家庭科	3年生 男女	宮城県の郷土料理の調査・調理実習の実施。 調理実習題材:おくずかけ、そばはつと	
15	宮城県水産高校	食品科学類型	食品科学類型3年	「石巻の捕鯊文化について」地元の水産協女性部を講師に招き、調理実習と講話を通して石巻の捕鯊文化について学んだ。	宮城県漁業協同組合女性部石巻支部
16	宮城県水産高校	食品科学類型	食品科学類型3年	課題研究の一環で県内に古くから伝わる「ずんだもち、仙台みそ、おくずかけ」について調べ、さらに調理実習を行った。	
17	宮城県農業高校	生活科食育プロジェクトチーム	太白区 小学生・保護者	β-カロチン豊富な人参・芋を活用して、スイートポテト作りを通して交流。 同時に野菜の栄養効果を食生活の見直しの講座も開講。(H21・3月実施)	仙台市太白区社会教育主事 菅原春夫氏
18	宮城県農業高校	生活科食育プロジェクトチーム	仙台市泉区 小学生・保護者	安納芋、アレルギーに効果のあるシモン芋を活用してスイートポテト作り、おいしく食べる方法を紹介し、交流。アレルギーを除去する食品の紹介と食生活の見直しの講座を実施。(H20・2月実施)	NPO法人シモンと健康を考える会 事務局長 土屋徹氏

19	亶理高校	亶理高校 家政科	高校2年生 家政科	郷土料理伝承会の開催「食を通して郷土を知ろう」題材「はらこ飯づくり」	亶理町 生活改善グループ
20	佐沼高校 (定時制)	佐沼高校定時制	定時制1～4学年の生徒	食生活に係わる講話(講師は本校栄養士) ・主菜・副菜等の役割について、 ・BMIと食生活について、 ・生活習慣病について ・食事の組み合わせについて	
21	涌谷高校	涌谷高校生徒会	ふれあい隊(有志生徒)	涌高祭(文化祭)において、地場産物を用いた食品づくり、配布して募金活動を行っている。 昨年は、涌谷産ほれん草入りクッキー過去には町産小ねぎの味噌汁。	JAみどりの
22	米谷工業高校 及び登米市	米谷工業高校	米谷工業高校 生徒・保護者	平成19年度から宮城県食育推進プラン基本目標に基づいて「食育」をすすめている。登米市はこれに係る支援を行った。 【平成19年度】 1. 教科「家庭基礎」等やLHRRにおいての食生活に関する正しい知識の推進。 2. 保護者、生徒への望ましい食習慣に関する講演会開催。 3. 職員対象研修会。 4. 健康アンケート調査。 5. 文化祭での食育コーナー開設。 【平成20年度】 1. 文化祭での食育コーナー開設。 2. 生徒への望ましい食習慣に関する講演会開催。	登米市市民生活部健康推進課
23	女川高校	女川高校	高校2年生	地域の旬の魚介類(さんま)にさばき方、調理方法を地域の方から学ぶ	自主グループ「お魚ネットワークとりあえず」、水産加工業者
24	塩釜女子高校	塩釜女子高校 (地域活性化グループ 「塩釜ほんぼん」)	市民	地元高校生が地場産品であるマグロを使った新商品を開発し、企業に採用、販売してもらい、地域の活性化を図ろうとした事業。本来処分するはずのマグロの血合いを使った(再利用)ハンバーグを作った作り、市民を対象にお披露目会を実施した。 商品名:まぐまぐハンバーグ	ヤマコ武田商店(鮮魚出荷業者)
25	塩釜女子高校	塩釜女子高校 (地域活性化グループ 「塩釜ほんぼん」)	市民	まぐまぐハンバーグと同じタイミングで、国の天然記念物である「鹽竈桜」をモチーフにしたカップケーキを作成し、お披露目会を実施。 カップケーキは、鹽竈桜をモチーフにした桜色のクリームに、桜の花びら型のピンク色のスポンジケーキが舞うようにのせたカップケーキ	なし



26	利府町	利府高校	高校1年生	町内の梨農家に向き、梨の花粉交配を行う。 (利府の産業の中心として古くから町を支えてきた梨にふれる食体験)	利府町地域整備課
27	南三陸町	志津川高校	高校1年生	栄養士による食育講話	南三陸町保健福祉課
28	柴田町	柴田高校	柴田高校3年生	*食事に關する、パワーポイント活用での食育支援。 欠食、偏食が多い中での食事、特に朝食の大切さ、昼食を売店で購入したパンだけで終える子どもに対する食事ポイント、部活を終えて太る子どもへの体重をキープするための食事の仕方、食事には摂らないが栄養素を多く含む食べ物の朝食で単品ダイエットしている子ども等に対し、身体をつくるためには高校生の時期に摂る食事がいかに大切か等々について食育支援した。	柴田町健康福祉課保健班

調査項目2 今後、やってみたい、やれそうな活動

No.	情報提供者	実施主体	対象者	取組内容	連携協力者
1	柴田農林高校	柴田農林高校	2学年選択 フードデザイン受講者	調理内容をより充実させたい。	
2	本吉響高校	本吉響高校	選択授業履修者	地元食材を利用した料理教室	外部講師
3	上沼高校	家庭クラブ	高校生(家庭クラブ員)	みやぎ食育コーディネーターの協力のもとに、郷土料理の講習会をやってみたい	みやぎ食育コーディネーター
4	西山学院高校	西山学院高校	高校生	郷土料理の調理実習(梅干し、笹まき作り)	地域の人
5	富谷高校	富谷高校 家庭科	1年生 男女	富谷町の特産物を利用しての調理実習(例 ブルーベリーを使用したお菓子作り等)	ブルーベリーを生産してる農家
6	宮城県水産高校	宮城県水産高校	全校生徒	食に関するアンケート調査を行い、実態を把握し今後の指導に生かす。	
7	宮城県農業高校	生活科食育プロジェクトチーム	小学生・保護者	サツマイモを活用したパン作りの学校開放講座(出前講座) ※地元産の伝統食材(伊勢野芋、ハマボウフウ)食べ方の研究	・仙台市太白区社会教育主事 ・NPO法人 ・JA古川 ・守る会会長

8	涌谷高校	涌谷高校家庭科	2年生	家庭科ホームプロジェクト 夏休み期間を利用し、自分や家族の食生活を見つめ、より良い食生活を目指し、改善、実践を行う。	
9	大河原商業高校	大河原商業高校	希望者	宮城の郷土料理講習会	
10	仙台東高校	家庭科	3年生選択 フードデザイン	地産地消と郷土料理	なし
11	県立高校	学校・学生	高校1年生 男・女	文化祭・料理講習会・家庭クラブに加盟しているので研究活動として食育を取り組む	
12	県立高校	大崎市	高校3年(科目選択者)	テーマ:宮城の郷土食を知る ～ はつと講習 ～ 目的:郷土に伝えられる料理を調べ実践することで、先人の食に対する知恵を学び郷土料理に関心をもち、郷土の味を継承していこうとする姿勢を育てる。	大崎市栄養士会
13	角田高校	角田高校	本校3年フードデザイン 選択者	地域の行事会・郷土料理を調査、実習	各家庭
14	柴田町	柴田高校	柴田高校3年生	今年度も、柴田高校からの依頼有り。日程調整中。	柴田町健康福祉課保健班
15	東陵高校			今後検討予定有り。	
16	県立高校			今後検討予定有り。	
17	県立高校	県立高校生徒	近隣小学生	郷土料理、お菓子作り	小学校PTA

調査項目3 大学生等の活動に係る情報提供

No.	情報提供者	実施主体	対象者	取組内容	連携協力者
1	浦谷高校			<p>養護教諭の教育実習生による講話。 「スポーツと食生活について」プリントや掲示物を用いて1年生を指導した。</p>	
2	県立高校			<p>東北大生協の取組み。 学生が何を食べているかカードを使用して情報を得、父母に送付するというもの。</p>	

